

日本での交換留学

お茶ノ水女子大学

ラナ・ロマックス

去年と今年、世界中の人々がたくさん変化を感じたに違いありません。こういった状態で、留学することは、普段より大変だと思います。同級生は日本に来る前に、いろいろ状況が不明なことがあって、留学計画がキャンセルされました。それでも、10月に、まだイギリスにいるうちに、つらい時差の影響を感じながら、授業を受け始めました。幸いに、11月に日本に行けるようになりました。日本にこられることは、いつもありがたく思います。

来たばかりの時はやはり一番困難でした。特に、一人で隔離されて、本当の留学生体験はまだ始まらなかったのに、帰りたいような気がしました。しかし、隔離されて以来、他の同級生や、先生の親切さのおかげで、徐々にリラックスできるようになりました。前学期で、いろいろな楽しい経験をして、徐々に授業を受けられるようになってすごく嬉しかったです。勉強しつつ日本で生活をするだけでなく、留学生たちと一緒に、たくさんいい思い出を作ることが出来て嬉しいです。



春休みで、日本で一番楽しかったと言える経験をしました。それは大阪、京都、奈良などに行ったことです。実は、ずっと可愛い日本の現代文化（ポップカルチャー）やファッションに興味があるので、子供の頃から東京に憧れていま

した。しかし、歴史的な日本は見落としがちでした。ですが、いろいろな場所を観光したら、日本の伝統的な文化にも恋をしたような気がします。特に印象が残っていることは京都の清水寺です。これをきっかけに、日本の文化における自然と四季の大切さを感じられました。日本に来る時の私と比べて、全体的に日本を知ることができたと思います。それから、日本の文化以外、いろいろな国から来た留学生と一緒に勉強して、お互いに出身について話すことで、世界が広がったように感じました。世界の多様性を理解することの大切さをわかるようになったと思います。

今学期、緊急事態宣言などの原因で、生活はちょっと厳しくなりました。と言っても、みんなの健康を守ることは優先だと決まっています。一人で暮らしていて、家族から遠く離れながら、自粛はけっこう難しいですが、つらい時があっても、感謝の気持ちを忘れずに持つようにしています。コロナ禍で、海外で勉強したり、生活したりするによって、1人でもいろんなことができることがわかりました。自分の長所と短所に気付いて、いつの間にか成長しました。



感謝の気持ちと云ったら、お茶大のみなさんが頭に浮かびます。そして、お世話になった人に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

まず、国際課の支援と案内なしで日本に来られないと思いますので、本当に助かりました。次、寮母さんに気楽に相談できたり、毎日挨拶したりすることで安心出来て、ありがたいです。指導教員と対面であったことがないですが、メールでのやりとりがいつも面白くて、感謝しています。

お茶大の先生も、いつも親切に教えてくださって、ありがとうございます。特に、松田先生と萩原先生がオンライン授業でも、元気で教えたり、話したりして下さるおかげで、授業をいつも楽しみにしていました。

最後に、日本にまだ来られなくて、頑張っている留学生たちが早く日本に入国できるように願っています。